

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

29号

山崎遺跡から古墳時代の住居跡

平成18年12月5日から平成19年2月9日にかけて、山崎遺跡で発掘調査が行われました。今回発掘調査を実施した地点は台地の縁辺部にあたり、昭和62年度に町道建設に伴い発掘調査を実施した地点に隣接します。

発掘調査の結果、古墳時代後期の住居跡が1軒、縄文時代の土器を捨てた穴や貯蔵穴などの土坑が19基、縄文時代の調理の場である炉穴が23基、江戸時代以降の穴が3基発掘されました。

古墳時代後期の住居跡は今から約1,500年前のもので住居跡南西側中央に竈（かまど）が備え付けられていました。竈からは炭化材や焼土が多数出土しています。煙の通った穴（煙道）も確認できました。この竈に隣接して土師器（はじき）と呼ばれる当時使われた土器がほぼ完形で見つかっています。この住居跡は住居全体の約1/2を検出したに留まりますが、恐らく主な柱穴（はしらあな）が4本の住居跡と推定されます。この住居跡の壁際には周溝と呼ばれる溝が確認されました。この付近から炭化材が出土していますので、壁際に板などで土留めしていたものと推定されます。一部東側で周溝がない場所がありました。この付近の床面は高くな



古墳時代の住居跡出土の土師器（はじき）

っており、出入り口と推定されます。

古墳時代の住居跡は、宮代町では、山崎遺跡、宿・源太山遺跡、地藏院遺跡、道仏遺跡、道仏北遺跡、山崎山遺跡の6遺跡のみです。今回の調査は宮代町の歴史を埋める上でも大きな成果がありました。（下の写真は古墳時代の住居跡）



縄文時代の土偶やペンダントも出土！山崎遺跡

山崎遺跡からは、古墳時代の住居跡の他、縄文時代の土器や装飾品も出土しています。縄文時代の貯蔵穴や土器捨て穴であった土坑（どこう）からは、今から約7,000年前から6,000年前の時代と今から約3,500年前の時代の土器が出土しています。



炉穴から出土した縄文時代7000年前の土器

縄文時代早期後半から前期初頭（約7,000年前から6,000年前）の土坑からは、集石を伴う遺構や非常に大きく深い穴などが発掘されました。この他、屋外の調理の場である炉穴は23基発掘されました。この時代、住居跡の中に調理の場はなく、屋外に台所（炉穴）があったのです。この炉穴からは、多数の土器がそのまま埋められていたものもありました（上の写真）。いずれの炉穴も底面が非常に焼けており真っ赤な状態で発掘されました。



縄文時代7000年前の炉穴（中央赤い所が焼け土）

縄文時代後期前半（約3,500年前）の土坑からはほぼ完形の土器などが纏まって出土しています。この時代の住居跡は、昭和62年の町道建設の際、今回の発掘調査地点のすぐ東側の標高が低い場所から見つかっていますが、今回の調査では発見されませんでした。しかし、多量の土器が発見されています。



土坑から出土した3,500年前の土器

また、町内で初めて発掘された土偶の脚の一部も見つかりました。この他、縄文時代のペンダントも見つかっています。今回の調査ではこのように非常に大きな成果がありました。これから詳細に出土した遺物を分析・整理することで宮代町にとって新たな発見があるかもしれません。



縄文時代の土偶



縄文時代のペンダント

平成19年度 資料館ではこんなことが！

特別展・企画展の予定

☆ 特別展「縄文土器とくらし」

開催期間 10月27日(土)～1月6日(日)

★ 企画展(年間3回開催)

① 昭和のみやしろ

開催期間 4月28日(土)～7月8日(日)

・・・4月29日の祝日が「昭和の日」となったことを記念して、昭和時代の宮代をご紹介します。

② 人と道具

開催期間 7月14日(土)～10月21日(日)

・・・複雑な道具を作り出して生活を送る唯一の動物である人間。人と自然との関わりの中から、どの

ようにして道具が生み出されてきたのかをご紹介します。

③ 企画展 道仏北遺跡発掘出土品展

開催期間 平成20年1月12日(土)～4月中旬

・・・平成17年度から行われている道仏地区土地区画整理事業に伴い発掘された土器や石器、装飾品を一堂に展示します。

上記のほか、旧加藤家住宅などにおいて、年中行事をテーマにした展示を行います。

体験学習・講座の予定

内 容	開催時期	対 象
かごづくり教室 (2回)	6月中	一般
移築民家と「アタラシイ」ゲキ4	8月中旬	どなたでも
縄文土器づくり	8月(つくる) 9月(焼く)	親子 (小学生以上)
昔話を聞く会	8月初旬	どなたでも
夏休み体験学習教室「郷土資料館へ行こう」 石臼、勾玉2、しぼり染め2(初級・上級)、ほか計7～10回程度	7月31日～8月31日	小学生
子供体験学習 子供地域探検隊	9月下旬	小学生
子供体験学習 凧づくり	12月初旬	小学生
子供体験学習 小麦まんじゅうづくり	2月中旬	小学生
わら細工教室	10月中旬	小学5年生 以上
郷土史講座(全4回)	10月～11月	一般
古文書講座	2月～3月	一般

道仏北遺跡の発掘調査（速報）

宮代町道仏地内の土地区画整理に伴う道仏北遺跡の発掘調査が、平成18年12月12日から行われています。

道仏北遺跡は、宮代の中央部にあります。地形的には、大宮台地の最も東側にあり、対岸は中央低地を隔てて下総台地となっています。幅40メートル余りの舌状をした台地の先端部に位置し、これから北西に向かい、古利根川にほぼ沿うように連なっているものと思われます。

現在、縄文時代前期の住居跡が6軒、古墳時代の住居跡が2軒、土坑約30基が確認され、現在、縄文時代3軒、古墳時代2軒の住居跡を中心に調査が進められています。

縄文時代の住居跡は、前期約6,000年前のもので、最近、国の指定史跡となった蓮田市黒浜貝塚を標準遺跡とする黒浜式期のものや、諸磯式期のものが発掘されています。黒浜式期のものは、長径4メートル、短径3メートル程の小型のもので当時の石斧等が出土しています。

また、諸磯式期の住居跡は長径6メートル、短径4メートルを測る台形をした住居跡です。

古墳時代の住居跡は、約1600年ほど前の人々が住んでいたものです。高杯という物を盛るための土器や深鉢などが出土し、一般的に古墳から出土する勾玉も出土しました。高杯も多く、特殊な住居跡かもしれませんね。

このほか、縄文時代前期の住居跡の存在が多数確認されており、発掘はさらに続きます。



勾玉

資料館日誌抄

- 11月 4日 古文書講座
- 11月16日 東遺跡試掘調査
- 11月21日 第2回文化財保護委員会
- 11月25日 子ども体験教室 紙すき
- 12月 5日 山崎遺跡発掘（2月9日まで）
- 12月12日 道仏北遺跡発掘（3月31日まで）
- 12月18日 県宿源太山遺跡試掘
- 12月19日 地蔵院遺跡試掘
- 12月23日 子ども体験教室 石臼粉引き体験
- 1月11日 大崎遺跡試掘調査
- 1月13日 企画展「ハレの日の風景」（4月22日まで）
- 1月26日 防災訓練
- 2月 6日 地蔵院遺跡試掘
- 2月25日 郷土史講座 第1回 路傍の庚申塔
- 3月 4日 郷土史講座 第2回 将軍が通る
- 3月 7日 宝光寺遺跡試掘
- 3月11日 郷土史講座 第3回 古利根の流れに歴史を見る
- 3月14日 和戸本郷地区試掘
- 3月18日 江戸時代の絵図面を見ながら歩こう
- 3月27日 第3回 文化財保護委員会

資料館寄贈者名簿

- (株)岩波書店 岩波英和辞典 計2点
- 並木幸佐氏 ムシオリキ テゴオリキ テゴ 座づくえ
カイコングワ タコスリ 計7点
- 成田総一氏 和だんす 陶製湯たんぽ 土びん 計4点
- 萩原一丸氏 箱膳（脚付） 計6点
- 斉藤勘五郎氏 ハンテン 計1点
- 岩崎克己氏 所有地及び耕作地に関する申請書
体育指導委員名簿（昭和51年）
確認申請書（建築物）
住居表示 旧新・新旧対照表 計10点
- 渡辺雅子氏 長着（男性用・女性用）
産着（祝い着 男児上下・祝い着用下着男児下）
風呂敷 計7点

宮代町郷土資料館だより えんがわ 29号

発行日 平成19年3月31日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>